

佐々木彰



日本内科学会認定内科医、日本腎臓学会専門医、学術委員会システムティックレビューチーム、
日本透析医学会透析専門医、日本臨床疫学会会員、公衆衛生学博士

2008年、福岡大学卒業。株式会社麻生 飯塚病院にて初期研修医、総合診療科専修医。2011年より聖マリアンナ医科大学病院、聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 腎臓高血圧内科に勤務。2014年4月、福島県立医科大学臨床研究イノベーションセンターフェローに就任。同年京都大学大学院社会健康医学系医療疫学分野博士後期課程に入学し2017年卒業。その他、京都大学臨床研究者養成プログラム（MCR）や2015年ハーバード公衆衛生大学院 Principles and Practice of Clinical Research (PPCR)修了。2017年4月より株式会社麻生 飯塚病院腎臓内科で診療に従事するとともに、臨床研究支援室チーフアドバイザーを兼務。

日々診療に従事しながら、臨床現場発の臨床研究を支援すべく、市中病院をフィールドとして臨床疫学および生物統計学の基礎から応用までの教育活動を行っている。また、施設を越えた活動として西脇宏樹らと共に多施設で臨床研究を学びながら実践するグループである JOINT-KD (Japanese Investigators with Innovative Network for Kidney Disease) を企画運営し、若手医師を中心とした臨床研究論文を発信し続けている。
社会活動として、厚生労働省難治性疾患克服研究事業進行性腎障害に関する調査研究班、診療ガイドライン作成分科会 エビデンスに基づくネフローゼ症候群ガイドライン作成委員としてガイドラインの改訂・作成に従事している。過去には急性腎障害（AKI）ガイドライン作成委員（日本透析医学会）を務めた。

〔主たる業績〕

1. Sasaki S, Kawarazaki H, Hasegawa T, Shima H, Naganuma T and Shibagaki Y. Anemia and Long-Term Renal Prognosis in Patients with Post-Renal Acute Kidney Injury of Nonmalignant Cause. *Nephron*. 2016.
2. Sasaki S, Hasegawa T, Kawarazaki H, Nomura A, Uchida D, Imaizumi T, Furusho M, Nishiwaki H, Fukuma S, Shibagaki Y and Fukuhara S. Development and Validation of a Clinical Prediction Rule for Bacteremia among Maintenance Hemodialysis Patients in Outpatient Settings. *PloS one*. 2017;12:e0169975.